

穴間隔寸法チュートリアル

穴間隔寸法_チュートリアル.zip



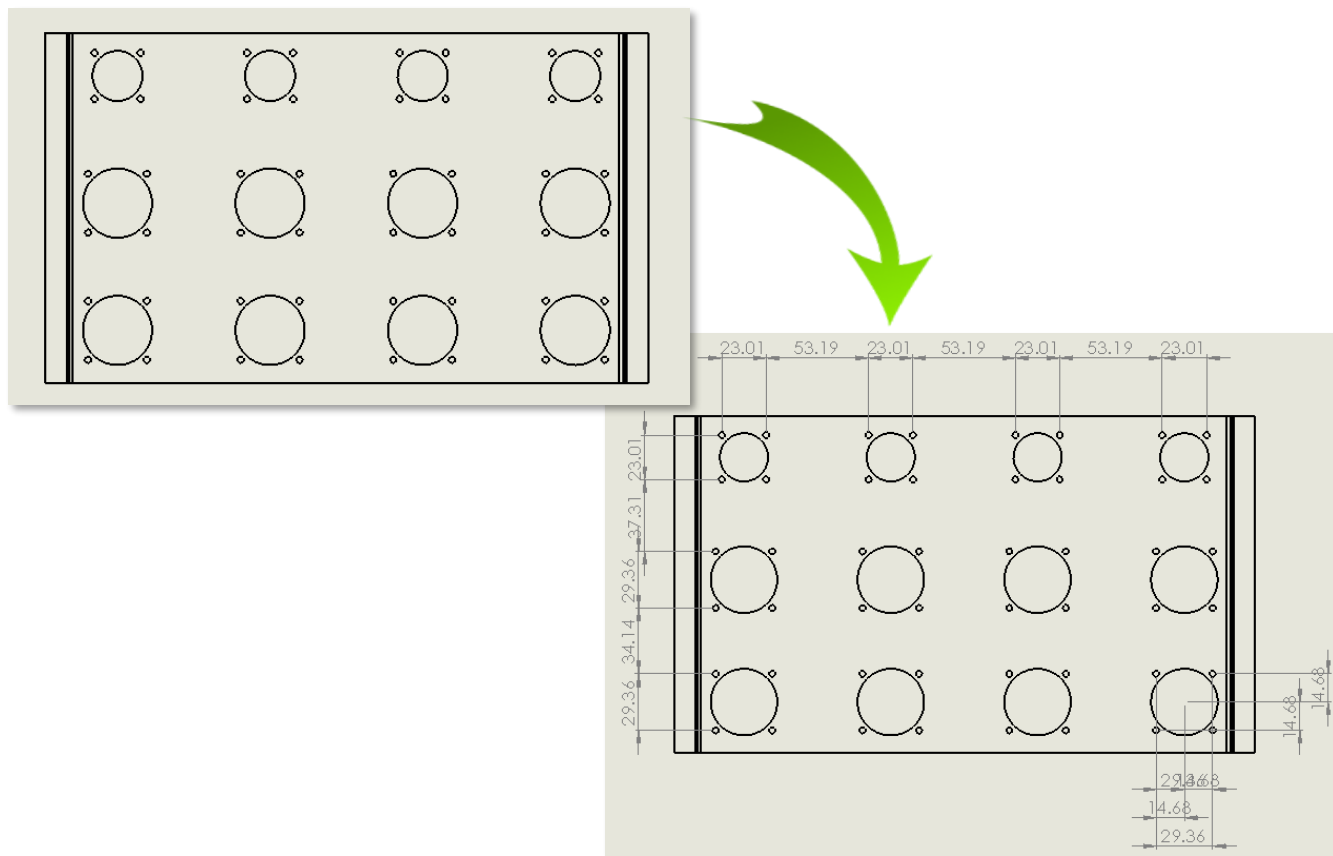
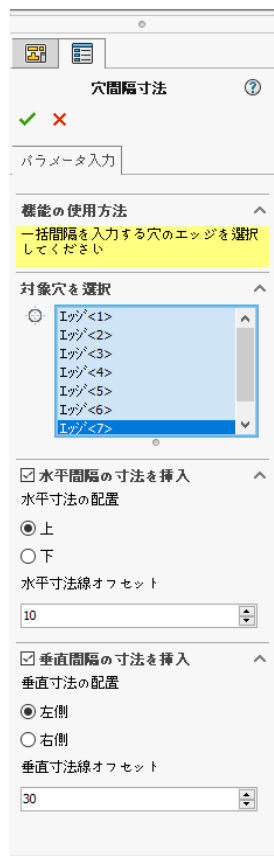
主な機能

- SOLIDWORKS 図面の穴間隔寸法を一括入力
- 寸法線オフセットの距離を指定
- 穴間隔寸法の倍率、配置の自動整列

業務効果

- 繰り返し作業の自動化による業務疲労の減少と作業時間の短縮

🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながら穴間隔寸法の使用法を学ぶ

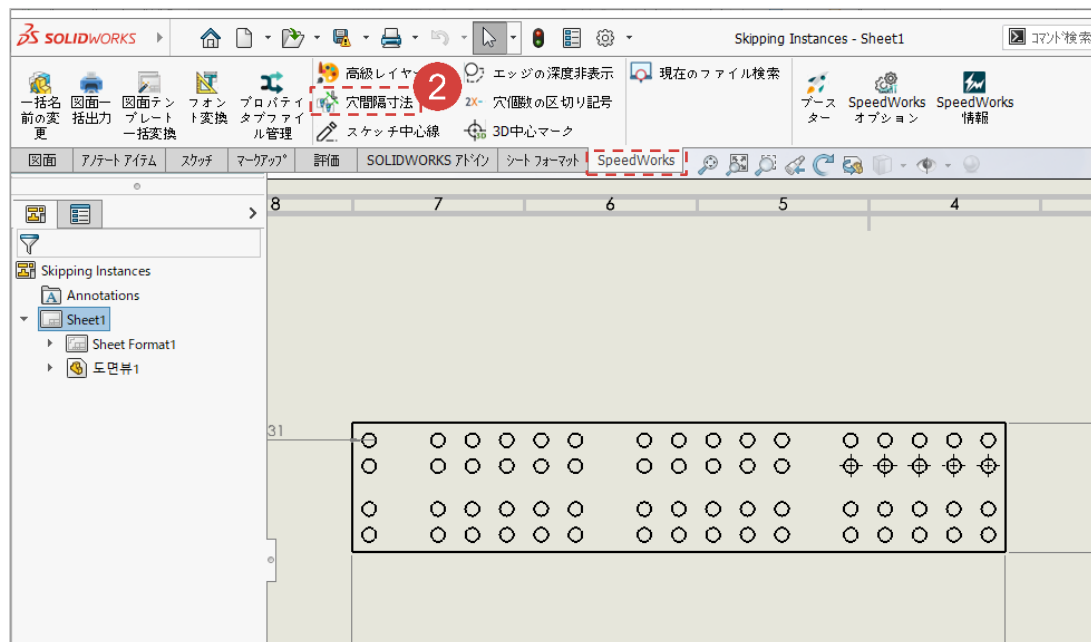
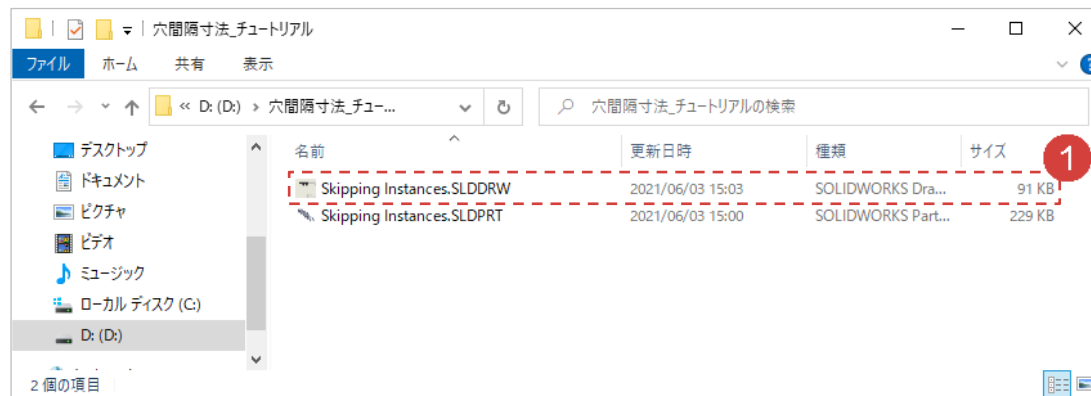


穴間隔寸法_実行

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① 例題のファイル中Skipping Instances.SLDDRW を実行します。

② [SpeedWorks]タブ- [穴間隔寸法] をクリックしてツールを実行します。



※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客様サポート
 >資料室 (<http://www.speedworks.info>) でダウンロードできます。

穴間隔寸法_寸法挿入1

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

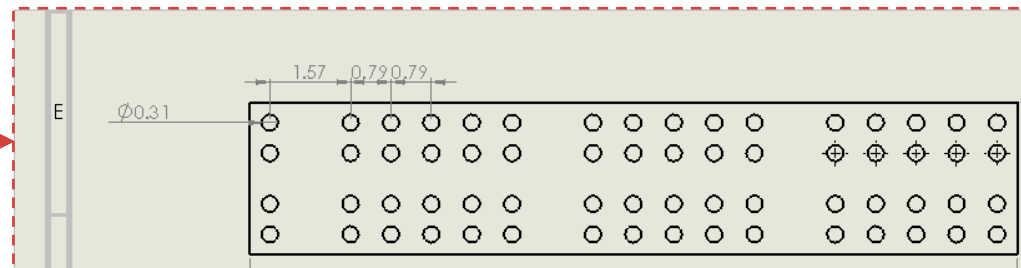
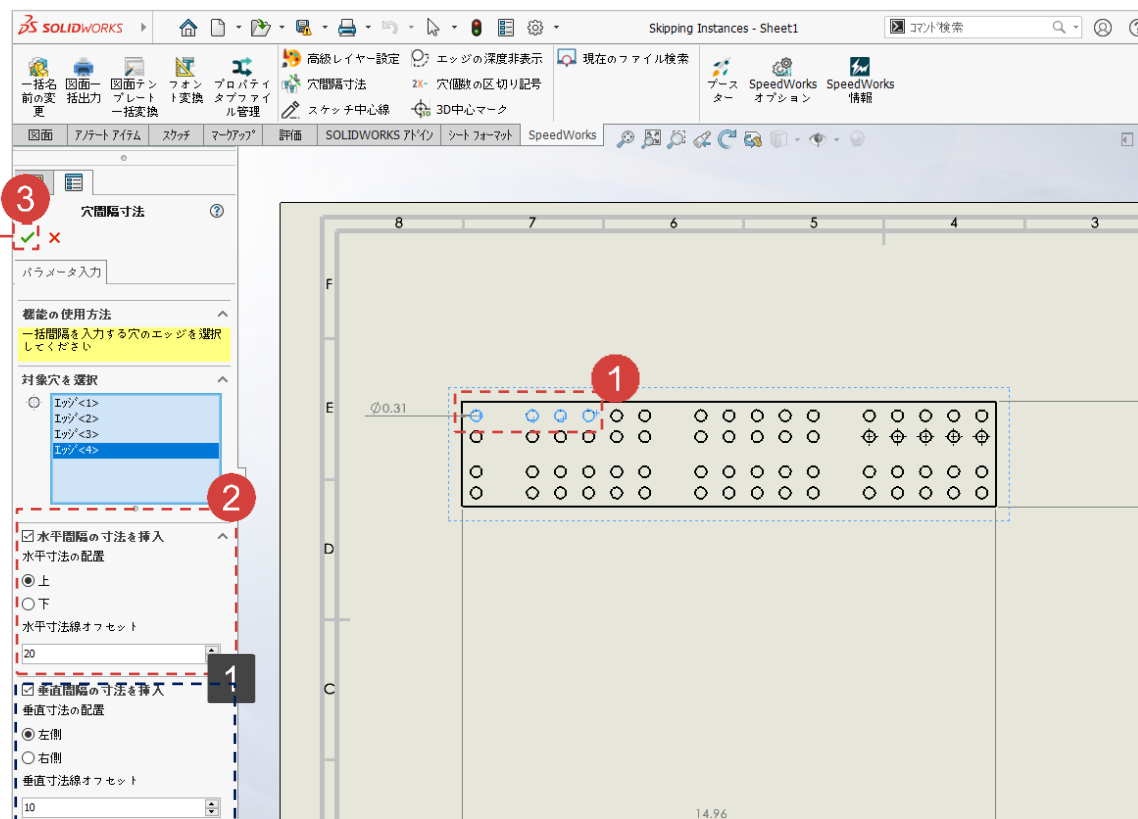
① [対象穴を選択]が活性化されている状態で次のイメージのように穴のエッジを個別選択します。

② [水平間隔の寸法を挿入]がチェックされているまま、[水平寸法の配置]位置を[上]に選択します。[水平寸法線オフセット]は '20' を入力します。

③ [OK] をクリックして穴間隔寸法を入力します。

① [垂直間隔の寸法を挿入]がチェックされていますが、選択された穴が同一線の上に位置していなければ垂直間隔は自動で入力されません。

⚠ このページで説明したプロセスで作業を行う場合、ドラッグ機能を利用したマルチ穴の選択はできません。ドラッグ機能を利用してマルチ穴を選択する別途の方法は04ページと05ページに書かれています。



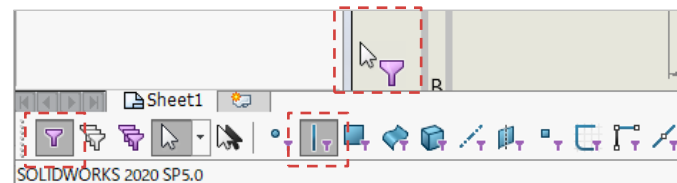
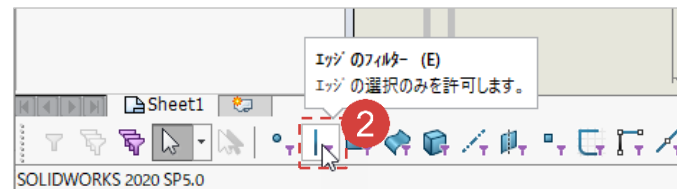
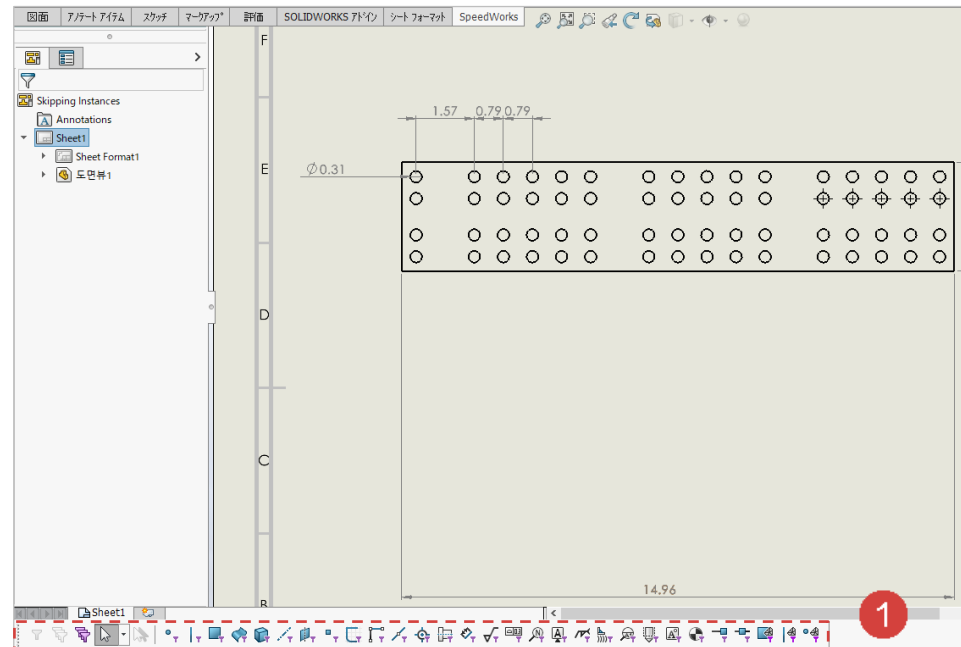
穴間隔寸法_選択フィルターの活性化

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① ドラグ機能を利用してマルチ穴を選択するためには、SOLIDWORKSの[選択フィルター]機能を利用してください。キーボードの[F5]を押すと選択フィルターが活性化されます。

② その中で[エッジのフィルター]を押してフィルター活性化します。

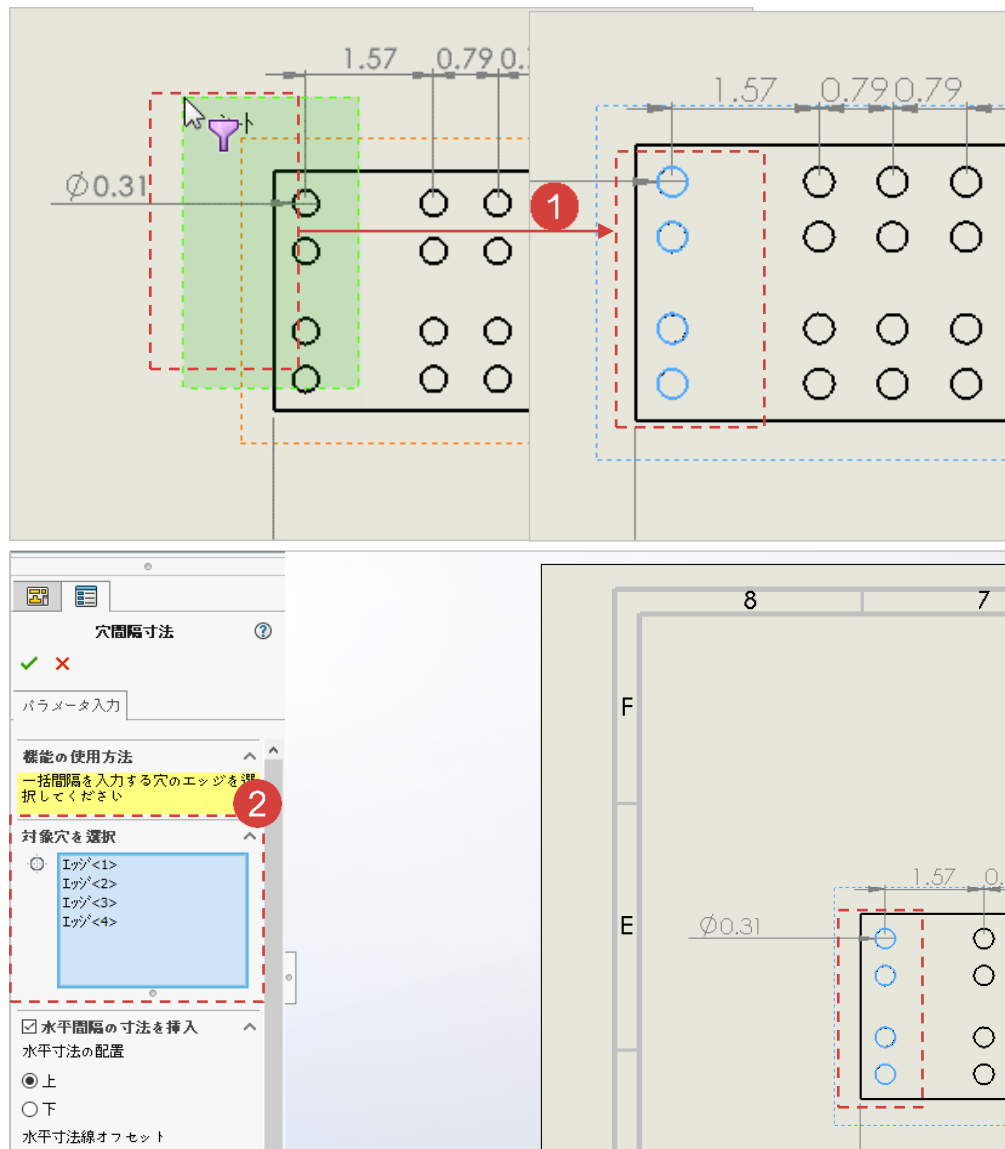
① フィルターが活性化されている際のマウスのカーソルです。該当の状態ではエッジのみ選択できます。



穴間隔寸法_対象選択

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- ① [穴間隔寸法]を実行していない状態でイメージのように対象をマウスでドラッグすれば複数の対象を簡単に選択することができます。
- ② 対象穴の選択後、[穴間隔寸法]を実行するとイメージのように①ステップで既に選択した穴が対象に追加されます。



穴間隔寸法_寸法挿入2

赤色の(❶)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(❶)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 [垂直間隔の寸法を挿入]がチェックされている状態で、
[垂直寸法の配置]は[左側]、[垂直寸法線オフセット]は「15」
を入力します。
- 2 [OK] をクリックして垂直間隔の寸法を追加します。

